

日産車体株式会社

個人投資家向け会社説明資料



日本のモノづくりを世界へ

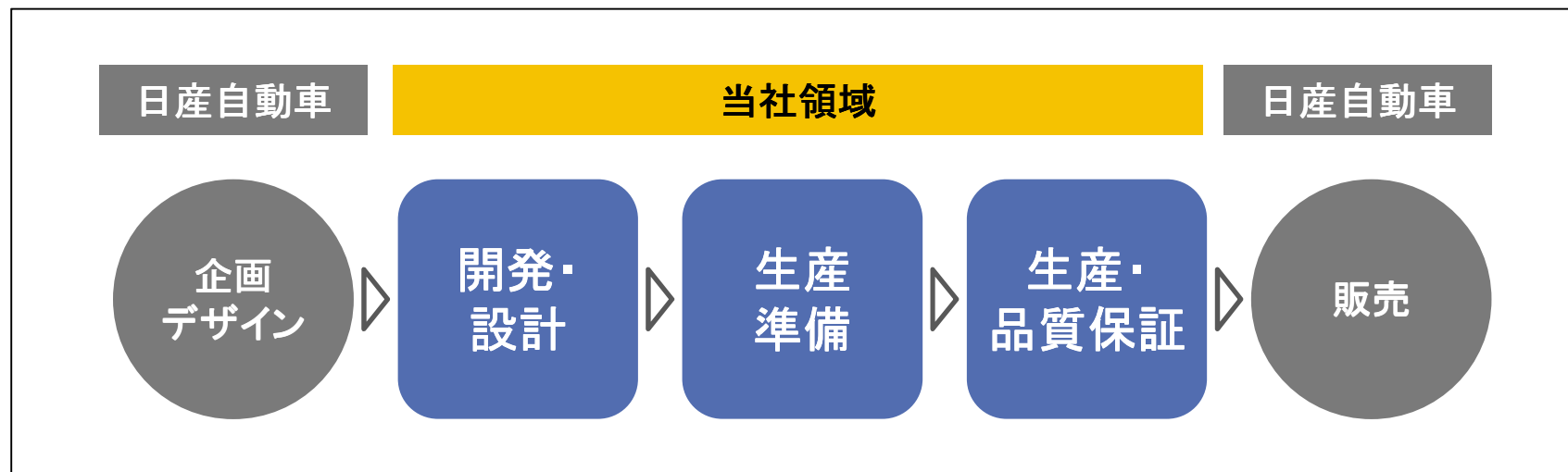
2014年5月

グループのご紹介

Outline



日産車体は、
開発から生産までを担う完成車メーカーです



日産グループの中で「LCV・MPV」の分野を中心に、
グローバルに活躍する完成車メーカーとして事業を展開しています

LCV: Light Commercial Vehicleの略。小型商用車

MPV: Multi Purpose Vehicleの略。多目的乗用車という意味でミニバンやSUVの総称

グループのご紹介

日産車体グループ



湘南工場と日産車体九州の2つの生産拠点が主軸です

	日産車体(株)	日産車体九州(株)
設立	1949年	2007年
事業内容	各種自動車の開発から 品質保証まで	自動車および その部分品の製造・販売
従業員数	1,977名	912名
生産拠点	神奈川県平塚市	福岡県苅田町

(2014年3月31日現在)

湘南工場



日産車体九州工場



グループ会社

日産車体マニュファクチャリング株式会社

▶ 日産車体のプレス部品の製造

日産車体エンジニアリング株式会社


▶ 日産車体および日産車体九州の設備保全と物流

 **AWK** AUTO WORKS KYOTO 株式会社 オートワークス京都

▶ マイクロバスとトラックの製造と特装車の架装

日産車体コンピュータサービス株式会社

▶ 情報システム構築、ネットワーク構築などのIT関連サービス

 **プロスタッフ** 株式会社

▶ 人材派遣から職業・人材紹介および各種アウトソーシング

グループのご紹介

沿革

2010年に日産車体九州の新工場が稼働開始。
2014年には湘南地区の再編を完了。

年月	社歴
2014年	3月、新本社を第2地区に竣工・湘南再編完了
2012年	湘南工場第1地区での車両生産を終了、湘南工場第4地区での車両生産を第2地区へ集約、湘南工場の車両生産体制の再編を完了
2011年	当社が開発した「NV200」がニューヨーク市の次世代タクシーに選定
2010年	日産車体九州稼働開始
2007年	子会社「日産車体九州株式会社」設立 生産累計1,500万台達成
1992年	生産累計1,000万台達成
1969年	フェアレディZ生産開始
1951年	日産自動車(株)と提携
1949年	当社前身 新日国工業(株)設立



▶ 高級ブランド「インフィニティ」を生産
(日産車体九州)



インフィニティ QX80

▶ LCVでグローバル展開をリード



NV200 NY市 タクシー提案モデル

▶ ミニバンで現在の基礎を構築



▶ 日産車体のルーツを作ったフェアレディZ



グループのご紹介

主な生産車



湘南工場



NV200
MINI-EV
NV200 パネット



AD/AD EXPERT
AD/ADエキスパート



WINGROAD
ウイングロード



Cedric
セドリック



PATROL
パトロール-Y61



PATROL PICKUP
パトロール ピックアップ

日産車体九州



Infiniti QX80
インフィニティ QX80



PATROL
パトロール-Y62



ELGRAND
エルグランド



QUEST
クエスト



NV350
CARAVAN
NV350 キャラバン

オートワークス京都



CIVILIAN
シビリアン



ATLAS
アトラスF24

グループのご紹介

特長



完成車メーカーとしてのDNAを活かした、 多くの特長を持っています

■LCVを中心とした多車種少量生産の一大拠点(湘南工場)



▶モノコック車



▶フレーム車

■2010年に稼動開始した日産グループの国内“最新鋭工場”
(日産車体九州)



▶ローラーヘミングによるエンジン
フードの生産



▶新塗装技術

■LCVで海外展開事業の基盤を強化



■グループ内での一貫生産により、
高品質な特別仕様車をスピーディに提供



2013年度 連結決算概況

2013年度 通期決算

主な2013年度の成果



1. 湘南地区の再編を完了

- 車両生産を第2地区に集約(13年1月)
- 第2地区で新本館を竣工・再編完了(14年3月)

2. 日産車体九州でフル生産体制を確立

- 2013年度の生産台数は、はじめて年間能力を超える12万5千台

3. 品質への取り組み強化

- グローバル日産品質賞「プラント・オブ・ザ・イヤー」2年連続受賞(湘南工場)
- グローバルのインフィニティ工場の中で特に品質が優れた工場としての評価(日産車体九州)

4. 生産台数勝ち上げへの取り組み

- 新型NV350キャンラバン特装车等の拡大

2013年度 通期決算

決算サマリー



消費税増税前の駆け込み需要による国内向け車種の増加、円安効果による主要市場の北米・中近東向け車種の増加等により、増収増益

売上台数

国内外向けNV350キャラバン、中近東向けパトロールなどの増加により、2.8%増の19.2万台

売上高

売上台数の拡大により2.0%増の4,742億円

営業利益

台数増、合理化等により2.6%増の101億円

当期純利益

湘南再編に伴う特別利益の計上等もあり、92.1%増の67億円

設備投資

設備の維持・更新を中心に91億円

減価償却費

日産車体九州での新型車生産開始に伴う減価償却費継続のため、244億円

2013年度 通期決算

業績ハイライト

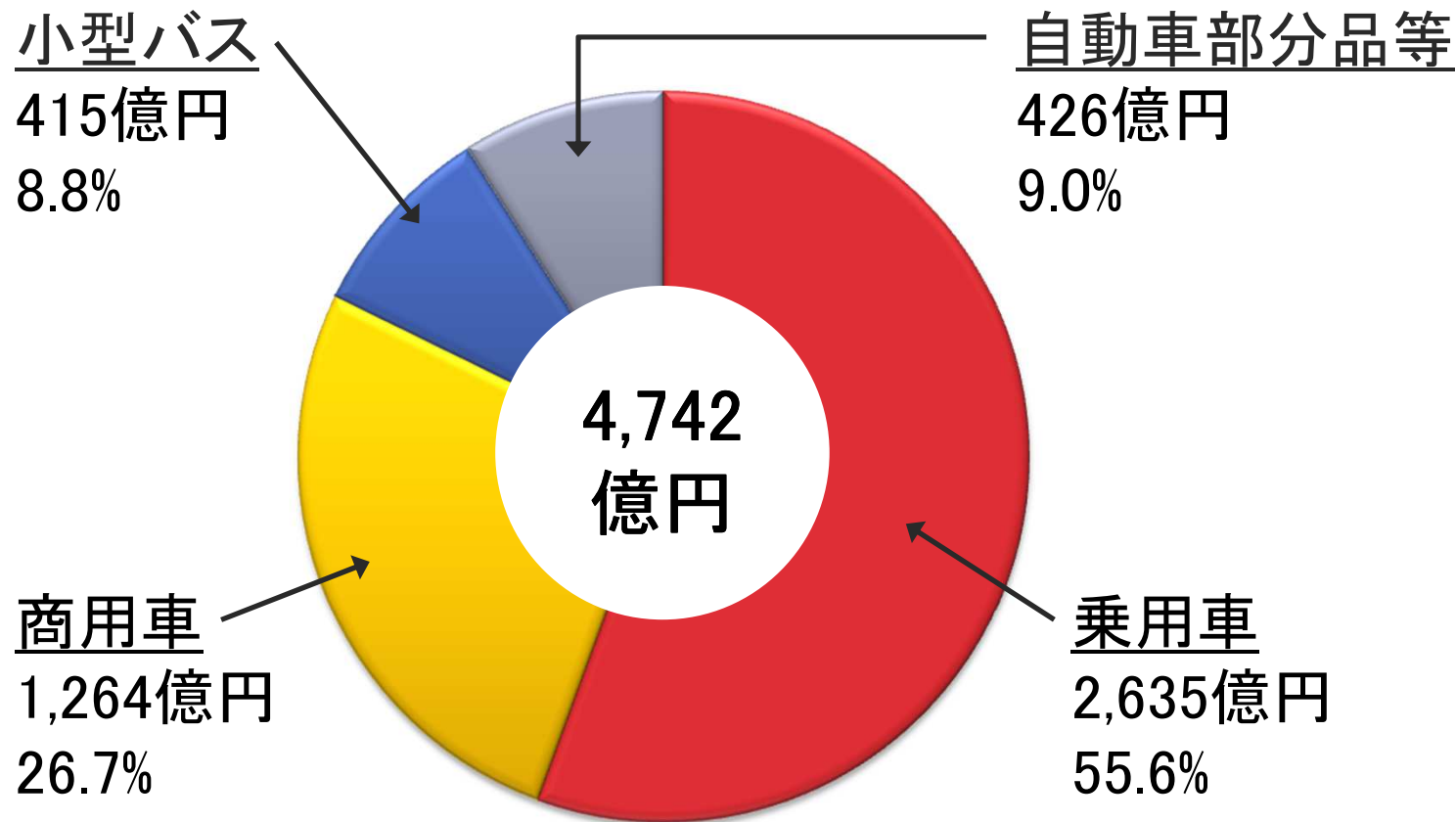


	2012年度 (2013/3)	2013年度 (2014/3)	増減額	増減率
売上高	4,648	4,742	93	2.0%
営業利益	99	101	2	2.6%
経常利益	94	100	5	6.2%
当期純利益	34	67	32	92.1%
売上台数(千台)	187	193	5	2.8%

単位:億円

2013年度 通期決算

品目別売上高構成比

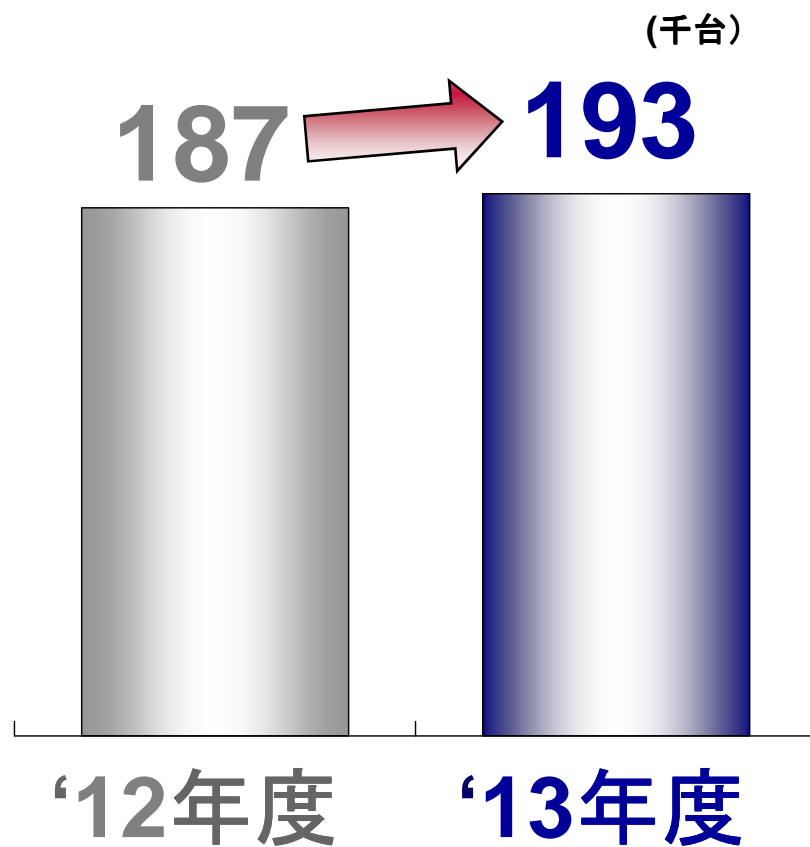


2013年度 通期決算

売上台数



売上台数は前期比2.8%増の193千台



(千台)

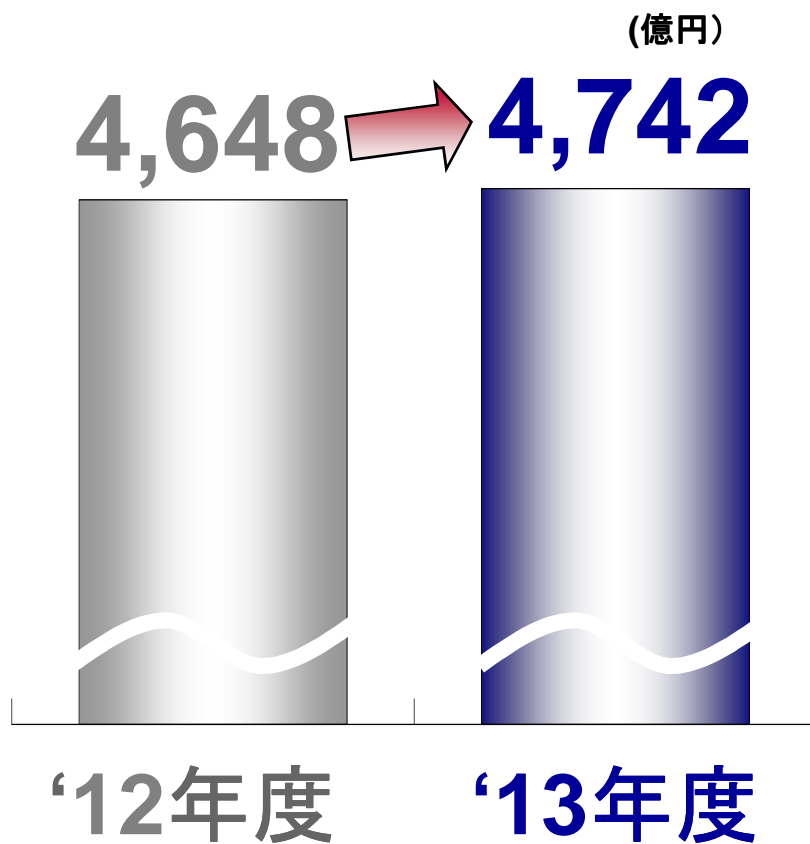
	前期実績	当期実績	増減率
乗用車	90	91	1.1%
商用車	85	82	▲ 4.2%
小型バス	12	20	64.7%
合計	187	193	2.8%

2013年度 通期決算

売上高



売上高は前年同期比2.0%増の4,742億円



NV350
CARAVAN
NV350 キャラバン



CIVILIAN
シビリアン

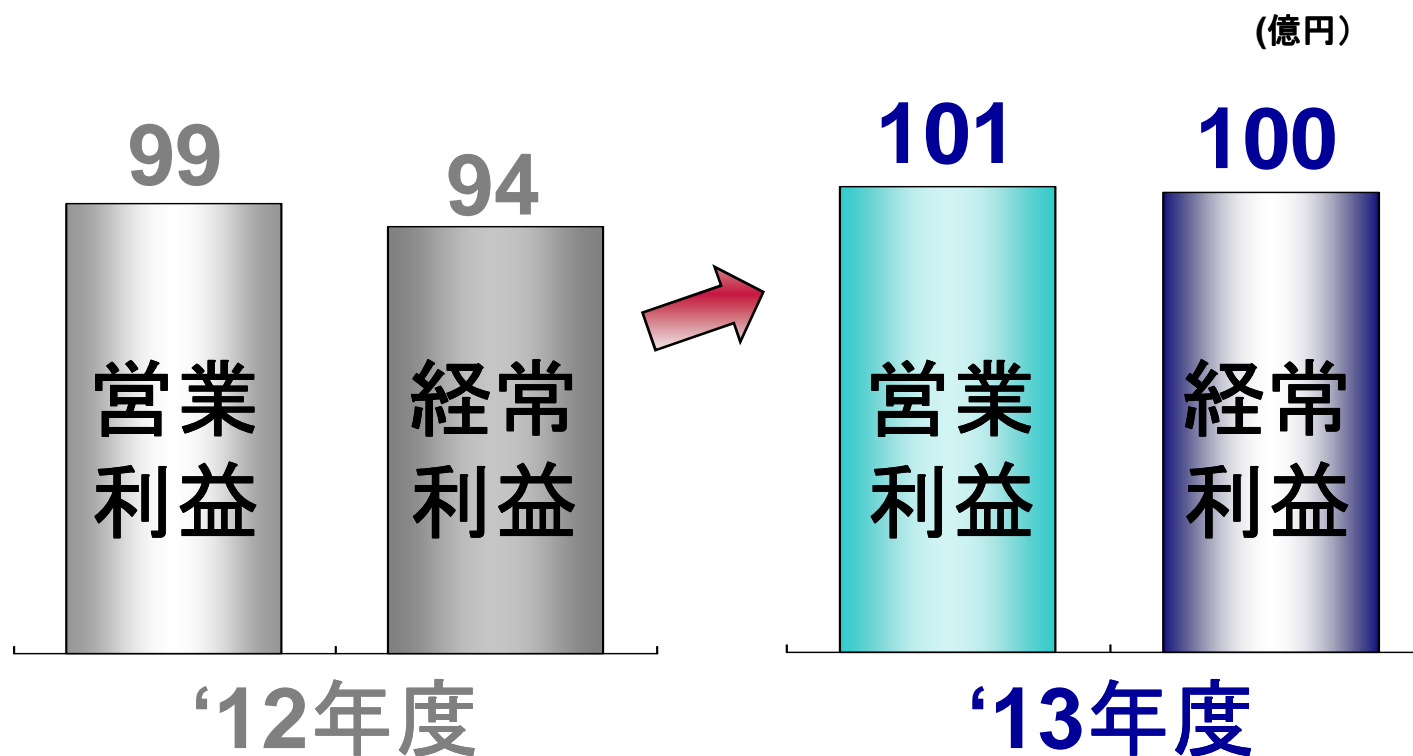


2013年度 通期決算

営業利益／経常利益

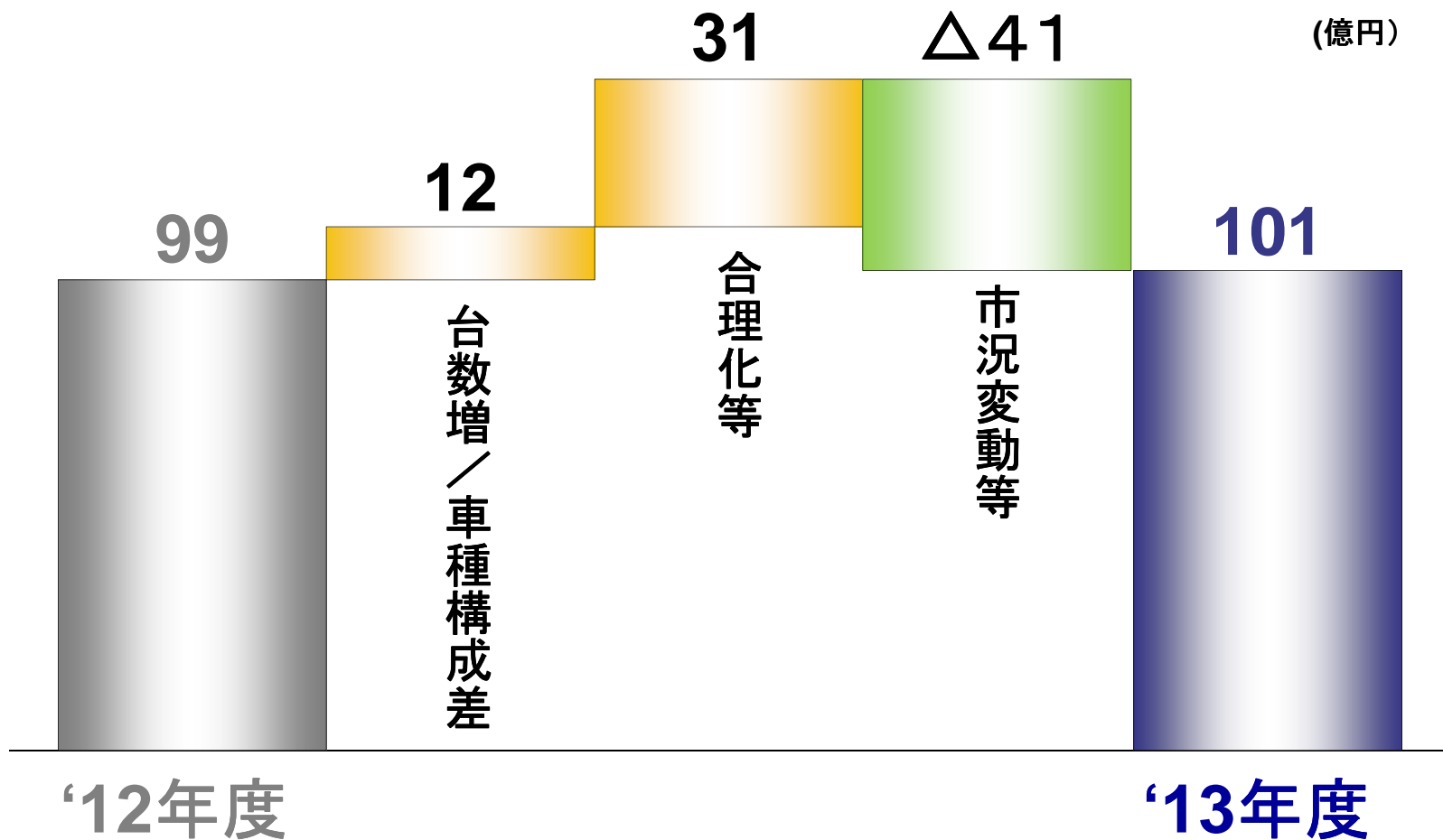


営業利益／経常利益とも前期を上回る



2013年度 通期決算

営業利益の増減要因

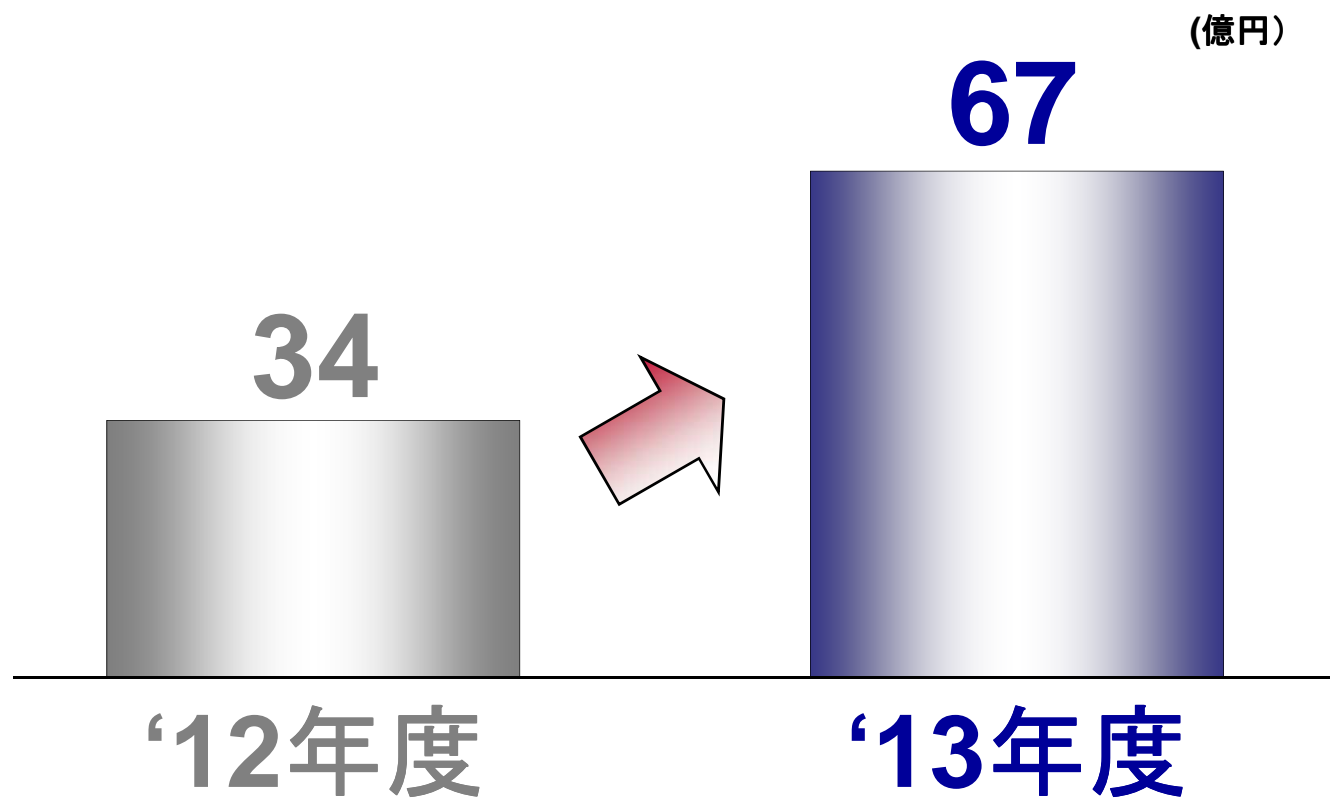


2013年度 通期決算

当期純利益



当期純利益は前期比92.1%増の67億円



2014年度 連結業績見通し

2014年度 業績見通し

2014年度の主な取り組み



<環境変化>

- 円高の是正による調達コスト増
- 海外生産拠点との競争
- 主要新興国での経済成長鈍化
- 国内消費税増税後の反動

<主な取り組み>

日産車体九州

1. フル生産を活かした「コスト競争力の強化」
2. インフィニティ工場としての「ベンチマーク品質の定着」

湘南工場

1. 生産集約を活かした「コスト競争力の強化」
2. 「生産台数拡大」による更なる生産効率の向上
3. グローバル日産品質賞「プラント・オブ・ザ・イヤー」の3年連続受賞を目指す

2014年度 業績見通し

2014年度の業績予想



国内における消費税増税による反動による台数減少などで、2013年度に対し減収・営業減益の予想。

当期純利益については、湘南再編に伴う工場跡地売却益を見込み増益。

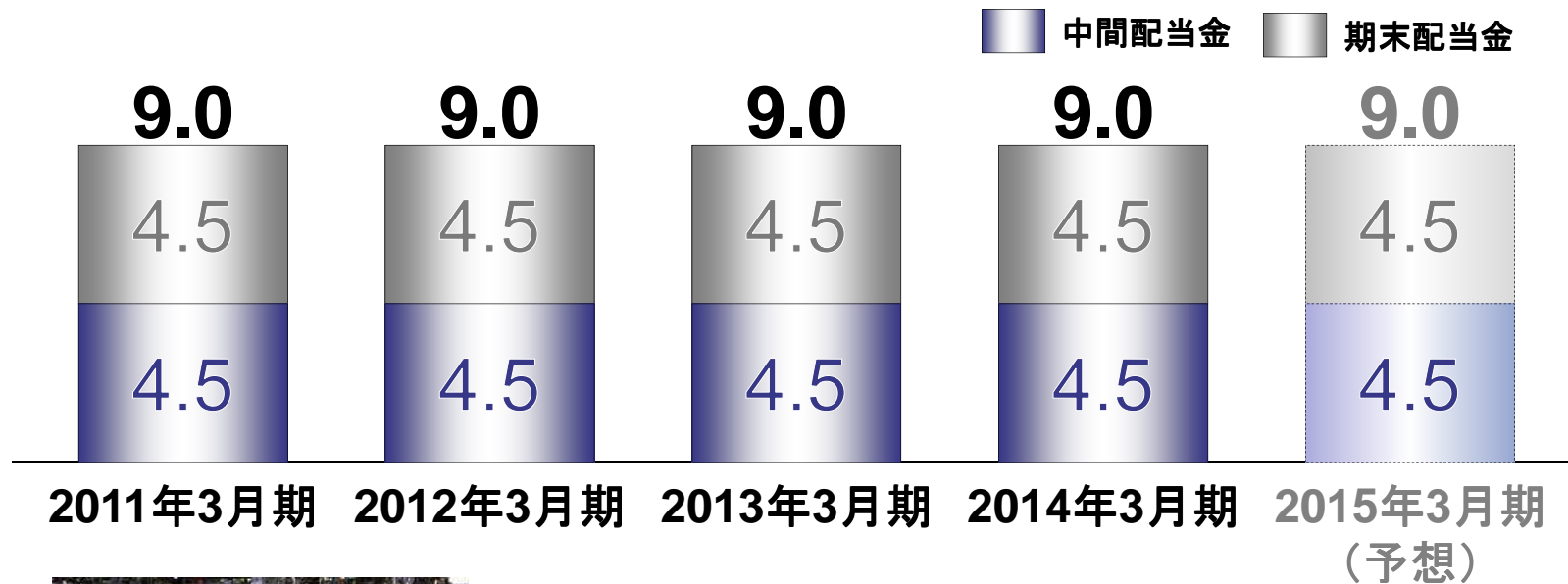
	2013年度 (実績)	2014年度 (計画)	増減額	増減率
売上高	4,742	4,550	▲ 192	▲ 4.1%
営業利益	101	85	▲ 16	▲ 16.4%
経常利益	100	83	▲ 17	▲ 17.2%
当期純利益	67	138	70	105.9%
売上台数(千台)	193	189	▲ 3	▲ 1.9%

2014年度 業績見通し

株主還元



持続的成長に向けた適切な内部留保を行うと同時に、
継続的な安定配当を実施



■ 株主向け工場見学

毎年、定時株主総会終了後に工場見学を実施し、
多車種混流生産ラインなど最新の設備をご案内しています。